

柿園管理情報 第5号

令和2年7月22日
砺波農林振興センター
城端果樹協会

1. 防除について

チャバネアオカメムシの発生量が依然と多くなっていますので、7月29日頃に散布する薬剤はカメムシ類に登録のある、モスピラン顆粒水溶剤としてください。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用倍率	水1000 当たり薬量
7月29日頃	カメムシ類 フジコナカイガラムシ	モスピラン顆粒水溶剤	3,000	33g
8月13日頃	炭そ病	ジマンダイセン水和剤	600	166g
	イラガ類 カキノハタムシガ	オリオン水和剤40	1,000	100g

※ クミテン等の展着剤を加用してください。10,000倍（10cc/水100リットル）

※ 農薬散布は薬害の出やすい高温時を避け、また、周囲の他の作物に薬剤が掛からないように十分注意してください。

2. 摘果について

摘果は遅くても、8月10日頃までに終了しましょう。

本年の「三社」は遅れ花の着果が多く見られます。

遅れ花を全て摘果し、葉35枚に1果となるようにしましょう。

3. 今後の気象に応じた管理について

7月9日発表の1カ月予報では、この後も不順な天候が続く予報となっています。

新梢に炭そ病斑がみられる場合は速やかに切り取り、園外に持ち出して適正に処分してください。